



山王台だより3月号

令和3年2月26日

横浜市立山王台小学校

〒235-0016

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL.045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

子どもたちの成長を感じて ～弥生3月 巣立ちの春～

校長 志田 一彦

校庭の桜のつぼみも膨らみはじめ、春の息吹を感じる頃になりました。まだ、寒さは残っていますが、春は確実に近づいてきています。

今年度を振り返ると、休校から始まり、分散登校、夏休み・冬休みの短縮、行事の中止や縮小、そして、学習活動も横浜市教育委員会のガイドラインに基づいて行うなど、新型コロナウイルスへの感染症対策を講じながら取り組んだ1年でした。

保護者や地域の皆様には、学校での子どもたちの活動の様子を十分に見ていただくこともできませんでした。毎日の健康観察をはじめ、人数制限、時間制限を設けて行った授業参観、運動会など様々な面でご理解、ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

コロナ禍の1年ではありましたが、子どもたちは毎日生き生きと学習活動に取り組み、休み時間は元気いっぱいに遊んでいます。今年度はインフルエンザで欠席をした子は、まだ、一人もおらず、マスクの着用や手洗いの効果が表れています。このまま健康で、学年末、新年度を迎えてほしいと願っています。

さて、校舎や教室の様子を見てまわると、この1年間の子どもの成長を感じる場面が多々あります。授業での発言内容や学習に取り組む姿をはじめ、ふとした会話や振る舞いの中にも成長した姿がうかがえます。

先日、今年度最後のたてわり活動があり、5年生が中心となってこれまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える活動が行われていました。どの班も協力して取り組み、心に残る時間を過ごすことができました。5年生の様子を見て、新年度には山王台小学校をリードしていく姿が思い浮かびました。

子どもたちの成長は学校の教育活動だけではなく、家庭教育はもちろんのこと、学援隊や図書ボランティアなどの地域の方々やキッズクラブなど、様々な人たちとの関わり合いの中で培われていきます。多くの方々からの子どもたちへの温かなまなざしが感じられる教育環境は本当にありがたく、山王台小学校の大きな財産です。

来年度も、保護者、地域の皆様のお力をお借りしながら「チーム山王台」として、全力で教育活動を進めてまいります。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度、様々な場面で下学年をリードしてきた6年生もいよいよ卒業を迎えます。3月23日には59人の6年生が山王台小学校を巣立っていきます。6年生は、私が山王台小学校に着任した時には、まだ3年生でした。6年生一人ひとりの成長を感じながら、その日を迎えたいと思います。

感慨もひとしおの弥生3月、巣立ちの春です。